

提出 順番	No. 4	令和 5 年 11 月 24 日 (午前)・午後 9 時 20 分受領
----------	----------	--

令和 5 年 11 月 24 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 真利子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
1 不登校対策について	<p>全国で不登校の児童生徒が急増し、文部科学省が公表した2022年度の「問題行動・不登校調査結果」では、不登校の小中学生は29万9,048人と過去最多となっています。この事態を受け政府は「誰一人取り残されない学びの保障」に向けた不登校対策「COCOLOプラン」を策定しました。子どもが不登校になる理由はさまざまで特定は難しいとされています。</p> <p>文科省は、近年の増加の背景についてコロナ禍での生活環境の変化や学校生活の制限が交友関係などに影響したことで登校意欲が湧きにくくなかった点を指摘しています。</p> <p>COCOLO プランでは、①不登校の児童生徒全ての学びの場の確保し、学びたいと思ったときに学べる環境を整える、②心の小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する、③学校の風土の「見える化」を通じて、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする、の三つの柱を掲げています。</p> <p>これらの対策について文科省は「今すぐできる取組から直ちに実行する」とし取組を求めています。子どもたち一人ひとりに光を当て誰一人置き去りにされない教育の実現に向けて全力で取り組んでいくべきと考えることから、以下について伺います。</p> <p>(1) 不登校の子どもを支援していく上で、今回のCOCOLO プランを受けて今後の町の取組は。</p> <p>(2) 一人で悩みを抱えこまないよう保護者を支援していく今後の新たな取組は。</p>

- | | |
|----------------------|---|
| | <p>(3) 多様な学びの場の確保や指導体制の整備の考えは。</p> <p>(4) 不登校の生徒、多様な学びの場での学習の成果について現在の状況と今後の取組の考えは。</p> |
| 2 小中学校の教員不足や待遇改善について | <p>日本では現在進行形で少子高齢化が進んでおり、子どもの数が減り学校で勉強を教える教員が余ってしまうのではと考えられているようですが、その反対で教員が不足しているのが現実です。</p> <p>文部科学省の『「教師不足」に関する実態調査』によりますと2021年5月時点で全国の学校で配当されている教員定数に達していない教員数は小学校で979人、中学校で722人、高等学校で159人というデータが出ています。</p> <p>全国で教員不足の状況が続いているうえ、教員を志す人の数は減少傾向にあるようです。</p> <p>教員不足の要因として挙げられるのが、産休や育休、病休取得者が見込み以上に多く、その補充のための臨時的任用教員の数が増加にあるようです。</p> <p>そこで本町としても教員不足によって起こりうる問題など子どもたちに不利益が起きていないのか、以下について伺います。</p> <p>(1) 本町の教員不足の現状とその対策、今後の方針は。</p> <p>(2) 小中学校教員の採用における実態について。</p> <p>(3) 教員が抱えている悩みや問題を相談できる仕組み、体制構築が出来ているのか。</p> |

(注) 質問の要旨は、具体に記載すること。